

みやざき 芸術文化協

第 127 号 令和 7 年 9 月 30 日 発行

題字：黒木淳吉

ホームページアドレス <http://www.miyazakigeibun.jp> メールアドレス geibunky@miyazakigeibun.jp

〈目 次〉

令和 7 年度事業計画について…	2
令和 7 年度「アーツカウンシルみやざき」の事業…	3
会員・役員等名簿…	4
みやざき文化振興課の文化事業…	5
会員だより…	6
ひなたの文化活動推進事業について…	7



延岡市文化連盟会長に 就任しての想い

延岡市文化連盟会長

松田 和己

延岡市文化連盟の会長を拝命して二年余りが過ぎた。これまで仕事以外の趣味は、野球、ソフトボール等スポーツ中心の人生であった私に文化連盟会長の依頼は、まさに青天の霹靂。就任後、友人・知人からは「スポーツ連盟のまぢがいじゃね?」とからかわれる日々であった。



野口遵記念館

延岡市文化連盟は現在、加盟団体一〇五、三支部、個人会員を合わせると約三〇五〇人の組織である。本連盟の創立は、昭和二四年一月。終戦直後の荒廃した市民の心を立て直すには文化の振興が必要だという強い思いのもとに設立されている。創立以来七六年間、地道に文化活動を継続してこられた諸先輩方の努力に敬意と感謝を表すると共に会長としての責任の重さに身が引き締まる思いである。

延岡市は、文化のレベルが高いとよく言われる。全国に情報発信している「天下一薪能」や「第九演奏会」をはじめ、市民の方々による文化活動が活発に行われている。「鐘が鳴る鳴る城山の鐘が……」から始まる「ばんば踊り」の歌詞が物語るように城山、五ヶ瀬川、大瀬川、日向灘、大崩山など海・山・川の自然環境に恵まれ、城下町としての伝統や風情が息づき、さらに世界を牽引する企業旭化成の社風が本市の文化振興を支えていると私は思う。

延岡市では、令和四年九月に内藤記念館、一二月には野口記念館を全面建て替え「延岡城・内藤記念博物館」、「野口遵記念館」として新しい歴史・文化の拠点をオープンし、城山を中心としたこのエリアを「歴史文化ゾーン」とした新しいまちづくりが進められている。スポーツは「身体の健康」を促し、文化・芸術は「心の健康」を育む。いずれも今の社会に最も大切なものである。少子高齢化の進行で会員の減少は否めないが、次代を担う子どもたちのためにも、「仲良く、楽しく、心豊かに!」をモットーに会員の皆さんが活動し易い環境づくりと共に文化活動の素晴らしさを市民に伝え、その輪を広げていきたい。

令和七年度事業計画について

1 令和七年度芸術文化協助成事業（予算額 一〇〇万円）

県民の芸術文化活動を奨励・援助するため、芸術文化団体の活動に対して助成を行う。

- (1) 助成対象事業 宮崎県内に所在している芸術文化団体の事業
- (2) 募集団体数 一〇団体程度
- (3) 助成額 事業費の二分の一以内 上限額一〇万円

2 宮崎県文化芸術支援事業（予算額 一二五七・三万円）

- (1) みやざき文学賞開催補助（五二四・三万円）

本県の文学活動の充実発展を図るとともに文化の振興に資するため「第二八回みやざき文学賞」を実施する。実施に必要な事項は、運営委員会を設置し検討する。

なお、この事業は宮崎県の支援を受け、平成一〇年度に創設したもので、本県の文芸の向上と普及を目指し「県民芸術祭」の一環として継続的に実施しているものである。

- ① 作品募集 小説・随筆・詩・短歌・俳句・川柳
- ② 作品受付 令和七年八月一日（休）～九月五日（金）を予定
- ③ 応募資格 県内在住者（県内在勤・在学者を含む。職業作家は除く。）

- ④ 審査・表彰 審査委員による審査を行い、入賞・入選者を決定し表彰する。

表彰式は令和八年二月一七日（火）予定。

- ⑤ 作品集発行 入賞・入選作品等を掲載した作品集「みやざきの文学」を発行し、関係機関・団体等に配付する。希望者に有料頒布する。

- (2) 文化団体活動支援事業（予算額 七三三万円）

- ① 県民芸術祭（助成事業分）（予算額 三三二〇万円）

文化団体が日頃の研鑽の成果を広く県民に発表すること等により県民の文化創造や文化意識の高揚を促し本県芸術文化の振興を図るため、申請のあった団体について事業内容や実施時期等を審査し、適当と認められる事業を採択する。

なお、採択の可否は県民芸術祭運営委員会にて審査し、周年的・記念的事業を優先的に採択する。

- ② 事業費の二分の一以内 上限額八〇万円 採択枠四事業
- ③ 県内文化団体活動助成事業（予算額 八〇万円）

算額 八〇万円）

県内の文化団体がその活動を拡大するため行うワークショップ、講座、学校訪問、ホームページ作成等の取組に対して補助を行う。

- 当協会会員団体 経費の四分の三 上限額一〇万円 採択枠五団体
- 当協会会員以外 経費の二分の一 上限額六万円 採択枠五団体

- ③ 県内伝統芸能（祭り）活動継承助成事業（予算額 三〇〇万円）

長年受け継がれ、貴重な地域資源として郷土への愛着の源となつている伝統芸能や祭りの継承に取り組む団体等で市町村からの推薦があつたものに補助を行う。

- 事業費の二分の一以内 上限額八〇万円 採択枠三団体

※ 国又は県が指定する文化財を活用した事業や宮崎県文化賞に関わる事業については上限額を一〇〇万円とする。

- 3 広げよう文化の輪推進事業（ひなたの文化活動推進事業）（予算額 五〇〇万円）

令和五年六月に策定した「みやざき文化振興計画」における重点視點「文化の裾野の拡大」又は「様々な分野（福祉や観光など）との連携」を図る文化活動への支援を行う。

申請前から事業実施、報告書の作成までアーツカウンシルによる伴走型支援を行う。

- 事業費の一〇分の一〇以内 上限額五〇万円 採択枠一〇事業
- 4 文化の担い手育成支援事業／文化のよる支援事業（予算額 一一九二・九万円）

県内の文化活動の支援機関として設置した「アーツカウンシルみやざき」において、文化団体からの相談対応や各種研修事業、助成事業の助言・評価などを適宜適切に行いながら、本県文化力の向上と魅力ある地域づくりを行う。

- 5 地域の魅力再発見支援事業／文化の力で地域を元気にプロジェクト事業（予算額 一九〇一・七万円）

県内文化活動の状況調査、支援対象地域の選定、対象地域における文化を活用した地域振興を図るための専門家による先進事例の紹介や専門人材を交えた文化プロジェクトの検討及びモデル事業の企画・実施を行う。

- 6 子ども伝統文化祭開催事業（予算額 五七二・八万円）

令和八年度以降の子ども伝統文化祭の開催に向け、市町村や学校、保存会等に対し、開催時期・場所、効果的な伝統文化の継承等について調査や意見交換会を実施する。

〈子ども伝統文化祭イメージ〉
各地域で受け継がれる伝統芸能

(神楽、棒踊り、泰平踊り、白太鼓踊り、荒踊り等)の発表の場と地域を越えた子どもたちの交流の場を創出

7 各種事業の後援等
申請に基づき、芸文協会等が実施する芸術文化事業について名義後援を行う。

8 第三五回公益財団法人宮崎県芸術文化協会「宮崎県芸術文化協会賞」の授賞
芸文協の加盟団体または加盟団体に所属する個人、その他適当と認める団体又は個人で顕著な芸術文化活動を行った者を顕彰するため、宮崎県芸術文化協会賞を授賞する。

①部門 芸術文化部門、芸術文化奨励部門(いずれも個人・団体)
②推薦 加盟団体
③授賞式 令和七年度中の通常理事会開催日に実施(一二月を予定)

9 会報「みやざき芸文協」第一二七号、第一二八号の発行
当協会及び当協会会員の活動状況等を記録するとともに、芸術文化活動の促進に関する情報を会員並びに県民に周知するため、会報「みやざき芸文協」を発行する。

①体裁 A四判 八ページ
②発行部数 一三〇〇部/回
③発行時期 九月、三月

10 「宮崎県文化年鑑2025」(第五一号)の発行
県内の主な芸術文化活動の状況等を記録し、現在及び将来の本県文化

振興の資料とする。

①体裁 A五判 一八〇ページ
②発行部数 五〇〇部
③発行時期 一二月頃

11 加盟団体等に対する支援、文化団体の育成等
(1)加盟団体は、高齢化、会員減少等により活動力の低下・組織の弱体化がみられることから、アーツカウンシルみやざきによる各団体へのヒアリング・助言等のほか、前記の活動補助事業を実施し、組織力や活動力の強化に向けた取組を促す。

(2)芸術文化団体の加入や賛助会員獲得に向け、関係機関・団体との連携強化を進める。
(3)その他文化団体育成のために必要な取組を適宜実施する。

12 芸文協運営のための会議
理事会(年三回)、評議員会(年一回)、専門委員会(必要の都度)、会員(加盟団体)代表者会議(年一回)等を開催する。

※理事会、評議員会については、必要に応じて臨時会議を開催する。

令和七年度 アーツカウンシルみやざきの事業について

1 文化芸術活動の支援(相談、アドバイス、ブラッシュアップ、マッチ

ング)

コロナ禍が終わり、国文祭の開催から四年が経ち、文化芸術活動は以前より盛んになったが、高齢化、少子化、資金獲得の難しさなど、課題は未だ解消されないままである。

2 文化団体相互及び他分野との交流連携の促進
アーツカウンシルみやざきは、宮崎県の文化芸術の専門機関として、県内の文化芸術活動の現状や課題を把握しておく必要がある。ただ県域全体への訪問や相談会の開催は難しいため、県内各地の文化芸術活動の主催者とのネットワーク形成を行う。このネットワークは情報収集だけでなく、研修や講座の要素をもたせることで、文化芸術関係者の質的向上を図る。

3 各種研修事業の実施
これまでは、アートマネジメント講座や、短歌みやざき事業に関わる短歌講座を実施してきたが、コロナ禍以降、講座への参加者は激減し、オンライン開催が前提と思われている傾向がある。また概論が避けられる傾向があり、それぞれの興味関心や現場への対応力につながるレクチャーが求められている。これらのこ

とを踏まえ、日常的に学ぶ機会や、小規模かつ定期的に開催される議論の場の提供を予定している。

4 助成事業の助言・評価
これまで通り、各助成事業の事前相談の対応と、採択団体向けのキックオフミーティングの開催を行う。

5 情報発信
SNSをはじめメディアの多様化をうけて、どの媒体にどれだけの情報発信を行えばいいのかわからなくなり主催者の負担となっている。アーツカウンシルみやざきのホームページやSNSを活用し、宮崎県内だけではなく全国に発信すること、また地域間ネットワークを通じて、団体間の連携を促進し、各ジャンルの中での情報交換が行われる環境を整備していく。

6 新たな事業の提案(調査・研究及び政策提言)
アーツカウンシルみやざきは設立から五年目を迎える。コロナ禍、国文祭・芸文祭、条例・計画の施行と様々なことがあった。今年度はこれらの状況を調査等で現状を把握し、これからの宮崎の文化芸術のための提言を行っていききたい。

公益財団法人宮崎県芸術文化協会会員・賛助会員・役員等

会 員

39 団体 順不同

団 体 名	代表者名	団 体 名	代表者名
宮 崎 県 歌 人 協 会	杉 田 一 成	宮 崎 県 吟 剣 詩 舞 道 総 連 盟	松 川 岳 匠
宮 崎 県 俳 句 協 会	田 上 比 呂 美	日 本 郷 土 民 謡 協 会 宮 崎 県 支 部 ・ 洲 明 会	小 測 洲 明 女
み や ざ き エ ッ セ イ ス ト ・ ク ラ ブ	福 田 稔	村 上 三 弦 道	村 上 由 宇 月
宮 崎 県 現 代 川 柳 協 会	間 瀬 田 紋 章	琴 伝 流 大 正 琴 宮 崎 支 部	真 木 妙 子
ひ む か か る た 協 会	梅 津 顕 一 郎	宮 崎 県 華 道 協 和 会	谷 口 穂 苑
宮 崎 県 美 術 協 会	山 本 祐 嗣	宮 崎 県 太 鼓 連 合	池 田 靖 洋
宮 崎 県 美 術 連 盟	園 田 博 一	宮 崎 市 芸 術 文 化 連 盟	根 井 翼
宮 崎 県 書 道 協 会	永 友 大 蔵	延 岡 市 文 化 連 盟	松 田 和 己
宮 崎 県 音 楽 協 会	島 津 陽 亮	日 南 市 文 化 芸 術 協 会	田 原 宣 輝
宮 崎 交 響 楽 団	河 口 安 伯	小 林 市 文 化 連 盟	園 村 正 晴
宮 崎 県 ア マ チ ュ ア オ ー ケ ス ト ラ 連 盟	岩 切 敏	日 向 市 文 化 連 盟	黒 木 金 喜
宮 崎 県 吹 奏 楽 連 盟	櫻 井 和 也	串 間 市 文 化 協 会	山 内 学
み や ざ き チ ェ ロ 協 会	土 田 浩	西 都 市 文 化 連 盟	清 野 憲 一
宮 崎 県 合 唱 連 盟	中 園 哲 也	え び の 市 芸 術 文 化 協 会	紫 雲 宣 子
宮 崎 県 お か あ さ ん コ ー ラ ス 連 盟	安 藤 真 奈 美	国 富 町 文 化 協 会	橋 本 知 恵
宮 崎 県 オ ペ ラ 協 会	泊 か ず よ	高 鍋 町 文 化 協 会	田 中 隆 吉
宮 崎 県 バ レ エ ユ ニ オ ン	伊 達 由 伺 子	門 川 町 文 化 協 会	水 永 光 彦
宮 崎 県 演 劇 協 会	濱 田 明 良	諸 塚 村 文 化 協 会	藤 崎 幸 子
宮 崎 県 川 南 町 モ ー ツ ア ル ト 音 楽 祭 実 行 委 員 会	多 賀 学 昭	高 千 穂 町 文 化 協 会	興 梶 則 夫
都 山 流 宮 崎 県 支 部	熊 元 城 芳 山		

役 員

顧 問	内 藤 泰 夫		
会 長	岩 切 裕 敏		
副 会 長	熊 元 一 徳	園 村 正 晴	中 村 禎 子
常 務 理 事	横 山 直 樹		
理 事	河 口 安 伯	黒 木 朋 子	田 中 隆 吉
	土 田 浩	二 宮 勝 憲	松 田 和 己
	八 代 正 輝	山 内 学	
評 議 員	岩 切 義 弘	園 田 潤 子	田 上 比 呂 美
	中 馬 章 一	濱 田 倫 紀	福 田 稔
	山 本 祐 嗣		
監 事	永 野 貴 士	吉 村 久 美 子	

賛 助 会 員

次の団体様に賛助会員としてご支援いただいております。

(団 体)

N H K 宮 崎 放 送 局 様
 株 式 会 社 宮 崎 放 送 様
 株 式 会 社 テ レ ビ 宮 崎 様
 宮 崎 ケ ー ブ ル テ レ ビ 株 式 会 社 様
 九 州 電 力 株 式 会 社 宮 崎 支 社 様
 宮 崎 県 音 響 照 明 舞 台 事 業 協 同 組 合 様
 J A 共 済 連 宮 崎 様

みやざき文化振興課の文化事業を紹介します

神楽のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組

宮崎の「宝」である神楽を次世代に継承し、今後の人づくりや地域づくりにつなげるとともに、ユネスコ無形文化遺産への早期登録を目指して取り組んでいます。

○主な取組

- ①国立能楽堂（東京都）での神楽公演
首都圏在住の方に神楽の魅力を知っていただくことを目的に平成28年度から実施。
- ②みやざきの神楽サポーター制度（企業等）の実施
神楽の継承活動を支援する企業、団体、大学等を「みやざきの神楽サポーター」として認定し、その活動を広報。
- ③日本の宝「神楽」を世界の宝へ
「神楽」の2028年ユネスコ無形文化遺産への登録を目指して、河野知事が発起人となり、「神楽継承・振興知事連合」を設立。神楽保存団体や知事連合のメンバー、国会議員、学識経験者などとともに機運醸成のための決起大会や要望活動を実施。



国立能楽堂神楽公演



みやざきの神楽サポーター
認定証交付式



「神楽」ユネスコ無形文化遺産
登録推進総決起大会

障がい者芸術文化支援センターの設置

障がい者の芸術文化活動を支援する地域の拠点として、「宮崎県障がい者芸術文化支援センター」を設置しています。

○センターの主な活動

- ①相談支援
障がいのある人やその家族、支援員などの相談を受け、専門機関へつなぐ中間支援を実施。
- ②人材育成
芸術活動のサポート研修会、視覚障がいのある人と行う対話型鑑賞会、障がい者の芸術活動に携わる人材を育成。
- ③発表の機会の創出
県立美術館や街中における作品展、ワークショップ、誰でも参加できるオープン！アトリエを定期的に開催。



オープン！アトリエ



対話型鑑賞会

第30回若山牧水賞記念事業に係る取組

今年度、30回の節目を迎える若山牧水賞と、牧水生誕140周年を祝う記念事業を実施しています。牧水の功績を改めて広く顕彰するとともに、幅広い世代の方に短歌に親しんでもらう機会としています。

○主な事業

- ①短歌日記帳の作成
子育てを通して感じたことを書き留めてもらう日記帳を作成。牧水や牧水賞歴代受賞者等の子育てに関する短歌も掲載。
- ②短歌投稿キャンペーン
インスタグラムによる短歌投稿キャンペーンを実施。題詠は「若山牧水」から1文字以上。応募者の中から抽選で50名に県産品が当たる。



短歌
日記帳



短歌投稿
キャンペーン

会員だより

みやざきチェロ協会の活動状況

会長 土田 浩



みやざきチェロ協会はプロ・アマチュアを問わず、宮崎県出身および在住のチェロの愛好家を会員とし、相互の協力により、その音楽活動を通して宮崎県の音楽文化の普及と発展に寄与することを目的として二〇一三年九月に創立しました。

創立翌年には会員数一〇〇名以上を達成し、「みやざき100人のチェリストたち」と題して創立記念演奏会を開催。以来会員数はずっと一〇〇名以上を維持しています。その多くは宮崎県内在住者ですが、近隣県から参加する会員も多くいます。年代も小学生から七〇歳代まで幅広く、世代を超えてチェロと音楽を通じた交流を行っています。二〇一八年一二月には五周年記念演奏会を、二〇二四年一月には一〇周年記念演奏会を、いずれも「みやざき100人のチェリストたち」のタイトルで



開催。地方都市でこれほどの規模のチェロ協会は他になく、またこれほどの規模でチェロだけの演奏会を開いているところもあまりありません。年間を通して年一回の会員総会と、プロ奏者を招くなどして講習会を開催、またミニコンサートなども行っています。NHK交響楽団首席チェロ奏者の藤森亮一氏や、東京音楽大学教授の山本裕康氏、元NHK交響楽団チェロ奏者の三戸正秀氏、柏木広樹氏など、これまでに当協会の演奏会で共演してきた一流の著名なプロ奏者たちが名誉会員として活動を支えてくださっています。

チェロは人間の声にも近い楽器と言われます。演奏する人たちは集まるのが大好きで、当協会の活動をみんな楽しんでいきます。これからも「チェロを通してみんなが幸せに」を合言葉に、チェロを弾く人も弾かない人も幸せな時間を共有できる活動をしていきたいと思っています。

宮崎県合唱連盟の活動状況

理事長 中園 哲也



宮崎県合唱連盟は、小学生、高校生、大学生、ユース、一般団体から成る教育団体及び合唱

を愛好する一九五〇年に創設された団体であります。合唱音楽の普及・向上と芸術文化の発展に寄与し、加盟団体相互の親睦を図ることを目的としています。年間の主な行事を紹介いたします。

【県合唱祭】

毎年六月の第一日曜日に延岡市、宮崎市、都城市を会場持ち回りで開催。加盟団体の多くが参加し、小学生から九〇代の方までステージに立

つ多彩なプログラムによる催しであります。演出もあるステージは視覚的にも楽しめる、まさに「合唱祭」であり、県民歌等を全体合唱する姿は圧巻であります。

【県合唱コンクール】

全日本合唱コンクールの県大会で毎年八月の第一日曜日にメイキックト県民文化センターを会場に開催。

近年、小学生部門での活躍が素晴らしく九州大会でも参加校の多くが上位入賞、全国大会でも同様で、昨年度は日南市吾田小学校が全国大会金賞第一位に輝きました。少子化傾向にある時代に応じ、複数校での参加や地域の一般団体での参加も可能となっています。

【県ヴォーカルアンサンブルフェスティバル】

一六人までの少人数で参加する合唱アンサンブルの大会で、毎年一月の第四日曜日に開催。指揮者なしで歌唱者自らの自発的な音楽を展開するのが醍醐味であります。合唱は二人から始まると言われます。お互いの呼吸から合わせることで同じ思いを共有できます。合唱の原点ともいえるこの大会は、三月末の福島県福島市で開催される音楽アンサンブルコンテスト全国大会に繋がっており、各部門の一位が県代表として参加しています。

【おかあさんコーラス大会】

おかあさんコーラス大会は県予選はなく、九州大会として各県を持ち回り、六月末に二日間六〇団体を超える参加団体となっています。本県のおかあさんコーラスは九州トップレベルです。近年参加団体の多くが特別賞を受賞し全国大会にも出場しています。

【県合唱講習会】

著名な合唱指導者や作曲家の先生方をお迎えし、合唱の基礎基本から応用編まで、発声の基本から合唱アンサンブルの音楽作りまでご指導いただいております。近年は、伊東恵司先生、信長貴富先生に来宮いただき、とても充実した講習会となっております。

どの行事でも裏方である運営スタッフの存在は欠かせません。全団体の全世代の方々に協力をお願いしています。特に県合唱コンクールでは一般団体、おかあさんコーラスの方々のご協力が絶大であり、その姿は若い世代へのお手本となっております。音楽の技術だけでなく、人としての姿を次世代へ伝える活動も宮崎県合唱連盟理では大切にしています。

ごあいさつ

宮崎県総合政策部
みやざき文化振興課長

松元 弘樹



県芸文協会員の皆様方におかれましては、日頃より本県文化芸術の発展・向上のため、様々な分野で御協力いただき、深く感謝申し上げます。

また、貴協会におかれましては、「芸術文化賞」や「みやざき文学賞」の実施のほか、県内の文化団体の活動支援など、さまざまな文化芸術事業を展開され、本県の文化振興の中核的な役割を担っていただいております。重ねて感謝申し上げます。

この四月からみやざき文化振興課長に着任しました松元と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度は宮崎国際音楽祭と若山牧水賞がともに三〇周年を迎え、本県の芸術文化振興におきましても記念すべき年度であります。県では、このことを契機として、さまざまな記念事業を実施し、より多くの県民の皆様が県の文化事業への理解を深めていただくとともに、県内外への

情報発信に力を入れていきたいと考えております。

また、県が策定しております「みやざき文化振興計画」に基づきまして、県芸文協と連携しながら、県民の皆様が文化に親しみ身近に感じられる環境づくりや、文化を支え育む人づくり、文化の持つ多様性や価値を活かし、様々な分野と連携した地域づくりに、引き続き取り組み、文化の裾野の拡大に引き続き取り組んでまいります。

最後になりますが、今後も、県民の皆様への心にとりと潤いを与え、一人ひとりが生き生きと暮らすことのできる活力ある地域社会を実現するため、文化振興の取組を進めてまいりますので、引き続き、皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

令和七年度 宮崎県ひなたの文化 活動推進事業について

今年で四年目を迎えた「宮崎県ひなたの文化活動推進事業」。国文祭・芸文祭の開催を一過性のイベントにさせず、そこで生まれた成果、人材、経験を未来に繋げること、文化芸術を軸とした他分野連携によって、課題やまちづくりなどさまざま

なアプローチを行う助成事業です。今年度は、二二事業の申請があり、五ヶ瀬町や三股町をはじめ県内各地で実施される一〇事業が採択されました。

この事業のポイントは「文化×〇」です。これまでの文化芸術活動から視点を変えて、観光、福祉、教育など、他分野と連携した取り組みや社会課題に向き合う事業を対象としており、単なる発表会や講演会ではなく、社会に対して開いていく活動が求められています。

近年の採択事業は、県外からの移住者やUターン、若い世代が多く見られることも特徴的で、「地域のために、文化芸術で新しい挑戦をしたい」という強い意気込みを感じられます。今まで文化芸術活動に御尽力されてきた皆さまの思い、従来の文化芸術の意義を尊重しつつ、この事業を通して、県内で新しい取り組みが生まれることを期待しております。

現在、「宮崎県ひなたの文化活動推進事業」は、県内各地で展開されており、ぜひ、多くの会場へ足をお運び下さい。「手段」としての文化芸術の意義を多くの方に体感していただけるきっかけになれば幸いです。事業について詳しくは、アーツカウンシルみやざきのインスタグラム

(@artsmiyazaki) をご覧くださる。

「令和七年度宮崎県ひなたの文化活動推進事業」採択事業一覧(※日程・場所は都合により一部変更になる可能性があります。)

○声優朗読劇フォアレーゼン(細島幕末明治の乱)&日向アニメ・マンガフェス!(公益財団法人日向文化振興事業団)

二〇二五年一月一六日(日)アニメ・マンガフェス:一〇時~一七時 朗読劇:開場一四時一五分/開演一五時

【日向市】日向市文化交流センター

○「ひえつき節の里 尾八重地区」上椎葉ダム湖底に眠る里の遺構と記憶 再発見ツアー(山之内裕信)

事業期間:二〇二五年七月一日(火)~二〇二六年二月一五日(日)

【椎葉村】椎葉村尾八重地区 横野 棧橋(上椎葉ダム)

○大正琴でJOY(琴伝流大正 琴宮崎県支部) 事業期間:二〇二五年七月一日(火)~一月三日(月・祝) 発表会:二〇二五年一月三日(月・祝)

ライトホール

○W.S.M.F (W.S.M.F実行委員会) 音楽体験事業:二〇二五年八月予定

フェスティバル:二〇二五年一月九日(日) 一~一九時(予定)

【宮崎市】放課後デイサービス COLORS 【国富町】法華嶽公園 ふれあい広場等

○MIYAZAKI BUSKING FESTIVAL 2025 (大山晴子 (HARO))

二〇二五年一月二二日(土)(予定)

【宮崎市】宮崎市中心市街地

○民謡が繋ぐ山村と都市アートを通じた地域民俗新表現プロジェクト(一般社団法人ハチハチ)

二〇二五年七月一日(火)~二〇二六年二月二八日(土)

【諸塚村】諸塚村内及び東京 島さん(演劇パフォーマー)はまつくす

○第三回公演 古典ではまつくす「浦島さん」(演劇パフォーマー)はまつくす

ヒアリング:二〇二五年九月~二月 ワークショップ:二〇二五年一月一日(土)~二日(日)(予定) 公演:二〇二六年一月一七日(土)~一八日(日)(予定)

【宮崎市】メデイキット県民文化

センター、【三股町】M☆ういんぐ(JR三股駅内)、小倉邸等

○「竹を切る人の物語」..スポーツとアートの中立点から生まれるSFダンス短編集(一般社団法人 nanstrops)

アーティスト・イン・レジデンス:二〇二五年八月一三日(水)~一七日(日)

【宮崎市】国際こども・せいねん劇場みやざき

○文化ストリートアート計画NE O (宮崎文化ストリート商業協同組合)

二〇二五年七月一日(火)~二〇二六年二月二八日(土)

【宮崎市】宮崎市橋通東文化ストリート

○スポーツ 相撲フュージョン in 五ヶ瀬 (CreateFields合同会社)

二〇二五年一月中旬 【五ヶ瀬町】五ヶ瀬町 Gドーム(予定)

編集後記

八月の中旬のある週のこと、全国ネットのテレビ番組で三本も続けて宮崎が登場した。オモウマイ店、モニタリング、イッテQである。宮崎愛などおよそなさそうな私だが、少

しうれしくなった。

そういえば、一〇月に始まるNHKの朝ドラの主人公は小泉八雲の妻だが、演じるのは宮崎出身の女優だという。また、東村アキコの漫画が原作の宮崎が舞台の映画が評判になったのも最近のことだ。

さらに小松孝英氏は、宮崎出身で台湾で活躍した画家の塩月桃甫、小説家の中村地平を相次いでドキュメンタリー映画として映像化した。

こんなふうにとこのところ、映像の世界において宮崎の露出が目立つが、映像も重要な文化活動のジャンルの一つである。映像での露出はひいてはほかのジャンルにも波及していくことは充分考えられる。楽しみに待つことにしよう。(葦部厳夫)

みやざき芸文協 第127号

令和7年9月30日発行

編集・発行

公益財団法人 宮崎県芸術文化協会

〒880-0804

宮崎市旭1丁目2番2号 宮崎県企業局2階

TEL 0985-31-2780 FAX 0985-31-2782

<https://www.miyazakigeibun.jp/deliverables/>

こちらのQRコードからもご覧いただけます



印刷所 鉾脈社